

無田の森を育てよう

延岡 北川町長井で植樹祭

3/19

県内外の40人が参加 6種300本を植える

延岡市北川町長井にある「無田の森」で14日、植樹祭があり、市内や宮崎市、大分県佐伯市などから約40人が訪れて汗を流した。無田の森を育てる会（杉山顕会長）が県の森林づくり活動支援事業として主催。ヤマグリやヤマザクラのほかヤマツツジ、イチヨウなど6種類300本の苗木を、日当たりの良い山の斜面や作業道の脇に植栽した。



延岡市内外から参加者があった植樹祭（14日、延岡市北川町長井）



足元を注意しながら作業する参加者

地名から名付けられた「無田の森は、いろいろな動植物が生息する家田温泉北側にあり、延岡自伐型



日当たりの良い場所を探して苗を植える参加者

林業研究会（佐伯卓信会長）が、研修林として約1kmの作業道を整備するなどして手入れを行っている。

を、皆さんに協力してもらえようになった。SDGsにもつながる活動。「自分の山」という気持ちで守り、良い山に育てていきたい。あいうえおの会のメンバーが「根元にしっかりと土を掛ける」「長い苗は添え木で固定するなど」植栽する時のコツをアドバイスした。参加者たちは、ツルハシやスコップを手に山に入り、植栽にふさわしい場所を探しては親子やグループで協力しながら、作業を楽しんだ。植え付けられた苗木には、ピン

クのリボンを巻いて目印にしたり、野生動物の被害が心配される苗木は金網で囲むなどした。知り合いに誘われたという平原町の家村祐香さん(37)は親子で参加。「森がどうやってできているかを見たかった。毎年見に来るようにして、娘の成長と同じように見守りたい。植えた場所を覚えておかないと」と笑顔。娘の実織ちゃん(5)と一緒に苗木を植え込んで土を掛けると、実織ちゃんが元気に根元を踏み固めていた。